

## 主要な経済指標の発表予定と予測 (3/17~3/20)

経済調査部 エコノミスト

坂中弥生

03-3591-1242

yayoi.sakanaka@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※（ ）内はみずほ総研予想

17日 : 内閣府月例経済報告 (3月)

19日 : 2月の貿易統計 (貿易収支▲7,278億円、輸出前年比+14.1%、輸入同+11.4%)

: 1月の全産業活動指数 (前月比+1.0%、前年比+3.4%)

### 10~12月期の実質GDP P成長率(2次速報)は1 次速報から下方修正

10日に発表された10~12月期の実質GDP成長率(2次速報)は、前期比+0.2%(年率+0.7%)となり、1次速報の前期比+0.3%(年率+1.0%)から下方修正された。主因は個人消費と設備投資の下方修正だが、住宅投資・公共投資も小幅の下方修正となった。一方、民間在庫投資は上方修正された。外需のマイナス寄与が続く中、公的需要が鈍化し、個人消費も駆け込み需要を除くと力強さを欠いたとの評価は1次速報時点と大きく変わらない。

### 経常収支は1兆円超の大幅赤字

10日に発表された1月の経常収支は1兆5,890億円の赤字(季調値でも5,883億円の赤字)と、4カ月連続で赤字となった。第1次所得収支は円安により高水準の黒字を維持したものの、駆け込み需要に対応した輸入増加により貿易赤字が拡大し、2兆円を超える大幅な赤字となったことが押し下げ要因となった。

### 国内企業物価指数は前年 比プラス幅が縮小

12日に発表された2月の国内企業物価指数は、前年比+1.8%(1月同+2.5%)とプラス幅が縮小した。電力・都市ガス・水道の伸びが高まる一方で、石油・石炭製品のプラス幅が縮小、非鉄金属が前年比マイナスに転じたことが全体を押し下げた。

### 第3次産業活動指数は2カ 月ぶりに上昇

12日に発表された1月の第3次産業活動指数は、前月比+0.9%(12月同▲0.5%)と2カ月ぶりに上昇した。消費増税前の駆け込み需要により小売業の活動指数が上昇したほか、金融業なども全体を押し上げた。

来週は、貿易統計、全産業活動指数が発表される。

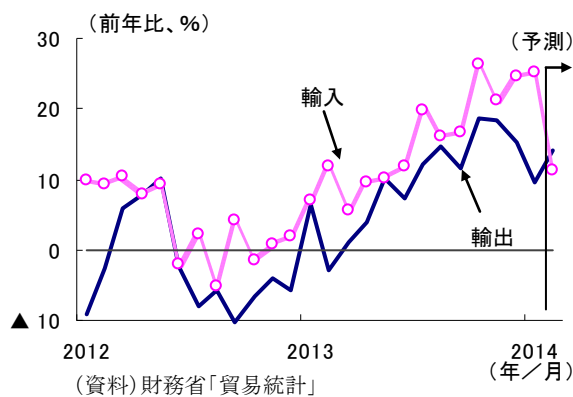
## 貿易収支は赤字幅縮小

19日に発表される2月の貿易統計は輸出金額が前年比+14.1%（1月同+9.5%）、輸入金額が同+11.4%（1月同+25.1%）、貿易収支が▲7,278億円（1月▲2兆7,917億円）と予測する。輸出は自動車関連品目の好調などにより、伸びが高まるとみられる。一方、輸入は、数量面では消費増税前の駆け込み需要に対応して高水準が続くものの、前年比でみた円安幅が前月から大きく縮小するため、金額ベースでみると前年比プラス幅が縮小するだろう。輸出の前年比増加幅が輸入の増加幅を上回るため、貿易収支は前年同月に比べて赤字が縮小するとみられる。

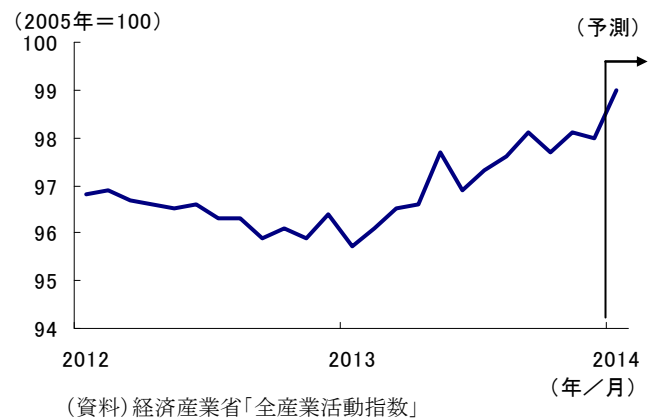
## 全産業活動指数は大幅に上昇

19日に発表される1月の全産業活動指数は、前月比+1.0%、前年比+3.4%（12月前月比▲0.1%、前年比+2.2%）と予測する。消費増税前の駆け込み需要により幅広い業種で増産となっている鉱工業生産指数や、小売業を中心に活動指数が上昇している第3次産業活動指数が押し上げ、全産業活動指数は2カ月ぶりにプラスとなる見込み。

図表1 輸出入金額の推移



図表2 全産業活動指数の推移



執筆担当～ 坂中弥生

予測担当～ 貿易統計：中村拓真、全産業活動指数：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

## 【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回	
3/14(金)	米 ミシガン大消費者信頼感指数(3月速報)	[82.0]	81.6	81.2	
	生産者物価指数(2月) [食品・エネルギーを除く]	前月比 前月比	+0.2% +0.2%	+0.1% ±0.0%	
3/17(月)	日 内閣府月例経済報告(3月)				
	米 鉱工業生産指数(2月) 設備稼働率(2月)	前月比 78.6%	[+0.0%] 78.5%	▲0.3% 78.9%	
	米 ニューヨーク連銀製造業業況指数(3月)	[+7.0]	+4.5	+12.5	
3/18(火)	日 20年利付国債入札				
	米 消費者物価指数(2月) [食品・エネルギーを除く]	前月比 前月比	[+0.1%] [+0.1%]	+0.2% +0.1%	
	住宅着工件数(2月) 住宅着工許可件数(2月)	年率 年率	[95.0万件] [96.0万件]	88.0万件 94.5万件	
				104.8万件 99.1万件	
3/19(水)	日 通関収支 原数値 貿易統計(2月)	[▲7,278億円] [-] [+14.1%] [+11.4%]	▲27,917億円 - +9.5% +25.1%	▲13,042億円 - +15.3% +24.7%	
	全産業活動指数(1月)	前月比	[+1.0%]	▲0.1% +0.4%	
	黒田日銀総裁挨拶(国際通貨研究所主催・国際金融シンポジウム)				
	米 米経常収支(10~12月期)		▲880億 <sup>ドル</sup>	7~9月期 ▲948億 <sup>ドル</sup>	4~6月期 ▲966億 <sup>ドル</sup>
	FOMC(18・19日)				
	3/20(木) 日 黒田日銀総裁講演(日本商工会議所第119回通常会員総会)				
3/20(木)	米 中古住宅販売件数(2月)	年率	[464万件]	462万件 487万件	
	フィラデルフィア連銀製造業業況指数(3月)		[+4.0]	▲6.3 +9.4	
	失業保険新規申請件数(~3/15)		[334千人]	315千人 324千人	
3/21(金)	日 春分の日(日本休場)				

予想：[ ]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。  
日：日本、米：米国、欧：欧州、英：英国、独：ドイツ、中：中国、韓：韓国、印：インド、尼：インドネシア、  
泰：タイ、比：フィリピン、伯：ブラジル、馬：マレーシア